

ZEPHYROS

ゼフュロス No.45

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

ISSN1342-8071



DÜRER

∞ ALBRECHT DÜRER Religion, Portraits, Nature Prints and Drawings ∞

アルブレヒト・デューラー版画・素描展

—宗教・肖像・自然—

会期：2010年10月26日(火)～2011年1月16日(日)

アルブレヒト・デューラー版画・素描展 宗教／肖像／自然

ALBRECHT DÜRER Religion/Portraits/Nature Prints and Drawings



《磔刑》1508年 エングレーヴィング
メルボルン国立ヴィクトリア美術館
©National Gallery of Victoria,
Felton Bequest, 1956



《ウルリヒ・ファルンビューラー》
1522年(1620年頃印刷) キアロスクーロ
メルボルン国立ヴィクトリア美術館
©National Gallery of Victoria, Felton Bequest, 1956

インターネットの普及や電子書籍の登場、あるいは映像メディアのデジタル化。いま、情報環境の歴史的な転換期に立ち会っているといわれる私たちの目に、かつて、ゲーテンベルク以来のメディア革命の時代を生き、そこに新たな視覚文化の可能性を見い出そうとしたドイツ人画家アルブレヒト・デューラー(1471-1528年)の芸術は、どのように映るでしょうか。

本展は、メルボルン国立ヴィクトリア美術館よりお借りした105点を中心に、ベルリン国立版画素描館からの3点の素描、そして国立西洋美術館が収集してきた49点の版画によって、デューラーのグラフィック芸術の全貌に迫ろうとする試みです。デューラーは未完の自著『絵画論』の草稿中に、視覚芸術の役割は「キリストの受難を描く」こと、そして「人間の姿を死後の世にも伝

える」こと、さらに「大地、水面および星辰の測定」といった自然の事物や現象を提示すること、その3つであると記しています。本展ではそれらを、「宗教・肖像・自然」というキーワードに置き換えながら、デューラーの版画作品を選択・分類しました。

第1章「宗教」では、宗教改革へと向かう時代において、デューラーがしかし、「受難伝」という伝統的な主題に繰り返し取り組んだことに着目します。そこでは画家自身の回想によって浮かび上がった「キリストの受難」が、連作ごとに異なる形態のつづれとなって可視化されています。続く第2章「肖像」では、とりわけ後半生のデューラーが数多く手がけた肖像版画、さらに神聖ローマ皇帝マクシミリアン1世による版画プロジェクト〈凱旋〉を紹介します。デューラーの芸術を考える際に、その周囲



《聖家族》1492/93年 ペン、褐色インク
ベルリン国立版画素描館
©bpk/ Kupferstichkabinett, SMB/ Jörg P. Anders



《メレンコリアI》1514年 エングレーヴィング
国立西洋美術館

に形成されていた高度な人文主義者サークル、あるいは皇帝らの庇護下で成熟していた知的環境を無視することはできません。デューラーが残した様々な肖像からは、まさに「死後の世にも」残りうるイメージの定立という企図とともに、この画家がいかに先進的な知性の担い手たちと交わり、その友情と緊張関係の中で制作を行っていたかが明らかとなるでしょう。

そして、最後の第3章「自然」では、デューラーがこの世界とどのように向き合い、それをいかなるイメージとして定着しようとしていたのかという、より広い問題について考えることになります。各々に固有の原理を隠し持った自然物を描き出すべく、デューラーは幾何学を学び、対象の内的構造を把握しようと努めました。宗教主題と世俗主題の区別を超えて、デューラーの芸術には、そんな「自然」に対する飽くなき情熱があったのです。こうしたデューラーの多様かつ一貫した

芸術活動が、モノクロームの版画を軸として展開されたことには、やはり驚かされません。デューラーという500年前の芸術家が版へと刻み、紙上に写しとることで残した形象たちは、印刷文化の危機がいわれる今日にも、その力をいささかも失ってはいないように見えます。そしてそこには、新たな情報環境の中を生きる私たちへのヒントさえも、溢れているに違いありません。

(国立西洋美術館研究員 新藤 淳)

アルブレヒト・デューラー版画・素描展

一般 850円 (600円)
大学生 450円 (250円)
小・中学生・高校生及び18歳未満、心身に障害のある方及び付添者1名は無料
(入館の際に学生証または年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください。)
* () 内は20名以上の団体料金
* 本展の観覧券で常設展示も併せてご覧いただけます。

表紙 (Title Page) :

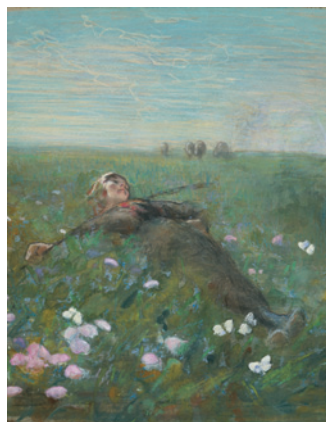
アルブレヒト・デューラー 《4人の魔女》1497年
エングレーヴィング
メルボルン国立ヴィクトリア美術館

©National Gallery of Victoria, Felton Bequest, 1956

松方コレクションをめぐるエピソード： セガンティーニ



セガンティーニ 《羊の剪毛》
1883-84年 油彩、カンヴァス
国立西洋美術館



セガンティーニ 《花野に眠る少女》
1884-85年 水彩、グアッシュ、パステル、紙
寄託作品

国立西洋美術館開館時の収蔵作品は絵画、彫刻等370点。もとは1910年代後半から20年代にかけて、実業家松方幸次郎が収集したものの一部でした。美術については素人であると自認していた松方は、イギリスやフランスに有力な助言者を得て、短期間に膨大な数のコレクションを築きます。その豪快な買っぷりを伝える数々のエピソードは、細かいことにこだわらず、善くも悪くも周囲の助言に従うひとりの大コレクターという「松方像」を形成しています。しかし実際の松方は、助言者たちに購入を希望する画家名を指定したり、また周到に駆け引きをしたりすることもありました。松方が収集した作品について調べていくと、助言者、画商、そして画家たちとのやりとりが浮かび上がってきます。

松方が1918（大正7）年、2年8ヶ月に渡る洋行から帰国したときの様子が、

当時の新聞に掲載されています。このとき「時間潰し」に始めた美術品収集で、600点もの作品を買い込んだと話す松方は、セガンティーニの絵画3点について、ヨーロッパからの帰途アメリカに立ち寄った際、その地の画商に「セガンチニ（ママ）は米国に一枚もないと羨望された」と得意げに語っています。現在、国立西洋美術館は松方コレクション由来のセガンティーニの絵画を3点収蔵しています（内1点は寄託作品）。これらのうち少なくとも2点は、1918年に松方が持ち帰ったものと考えられます。松方は自ら日本に設立する予定であった美術館に、この象徴主義の画家の大作を掲げるつもりでした。この美術館には、同時期のイタリアの彫刻家ビストルフィによる《セガンティーニ記念碑》も設置されることになっていたのです。

（国立西洋美術館主任研究員 大屋美那）

小企画展「アウトサイダーズ」 新館2階版画素描展示室



カロ 《乞食》
1622-23年頃 エッチング
国立西洋美術館



ベーハム 《小さな道化》
1542年 エングレーヴィング
国立西洋美術館

代国家が生成し、社会のヒエラルキーが確立することによって、内部の「よそ者たち」が以前にも増して顕在化していったのです。特にフランスの版画家ジャック・カロは、鋭い観察眼によって彼らを生き生きと描き出しています。展示される彼ら、彼女らの姿は、時代の空気を私たちに伝えてくれることでしょう。

(国立西洋美術館主任研究員 渡辺晋輔)

*企画展観覧券、または常設展観覧券でご覧いただけます。

EVENT イベント

クリスマス・プログラム

「10分トーク・クリスマスバージョン」

クリスマスやキリストに関連する作品をボランティア・スタッフがトークします。

日 時： **12月14日(火)～12月17日(金)**

各日 ① **14:00～** ② **14:30～**

③ **15:00～** (各回10分)

場 所：常設展示室

※参加費無料。ただし、ご入場のため常設展観覧券が必要です。

※トーク作品は、当館ホームページをご覧ください。



フランチェスコ・ボッティチーニ
《聖ニコラウスと聖カタリナ、聖ルチア、
聖マルゲリータ、聖アポローニア》

「クリスマスキャロル・コンサート」

クリスマスにちなんだ歌を特集したアカペラ中心のコンサートです。予約不要。ご自由にお立ち寄りください。

日 時： **12月18日(土)・12月19日(日)**

各日 ① **11:40～12:20**

② **15:40～16:20**

※曲目は2回とも同じです。

場 所：本館1階ロビー

演 奏：東京藝術大学声楽家有志

「クリスマスの物語」

クリスマスのお話を聞いたり、絵を見たりします。要予約。

対 象：6才-10才の子どもと同伴の大人
(子どものみの参加は不可)

定 員：各回15名 (大人込み)

日 時： **12月18日(土)・19日(日)**

各日 ① **9:45～** ② **10:15～**

③ **10:45～** ④ **13:45～**

⑤ **14:15～** ⑥ **14:45～**

場 所：本館1階ロビー、常設展示室

※内容は6回とも同じです。参加費無料

(ただし、大人はご入場のため常設展観覧券が必要です。)

申 込：11月15日から受け付けます。(先着順)

※「クリスマスの物語」申込用紙を使ってFAXでお申し込みください。申込用紙は本館ロビーにございます。あるいは当館のホームページ (<http://www.nmwa.go.jp/>) からプリントすることができます。応募状況は当館ホームページでご確認ください。

「クリスマス・カードをつくろう」

スタンプを使って自分だけのクリスマス・カードをつくります。予約不要。ご自由にお立ち寄りください。

※参加費無料。(ただし、大人はご入場のため

常設展観覧券が必要です。)

日 時： **12月18日(土)・19日(日)**

各日 **10:00～16:00**

場 所：新館2階休憩室 (常設展示室内)

Museum shop ミュージアム ショップ

新商品

- 考える人 Tシャツ
白・黒 サイズXS・M・L (男女兼用)
2,800円 (税込み)

少し厚手のTシャツ上に、小さな「考える人」のドットが大きな「考える人」のシルエットを表現しています。男女を問わず、夏場に1枚でも、ジャケットのインに着ても、違和感のないシンプルなデザインに仕上げました。



「考える人」部分拡大



- トレシーカレンダー
陽を浴びるポプラ並木・果物籠のある静物
750円 (税込み)

極細繊維のトレシー上に、絵画をデザインしたカレンダーです。立て掛けられる台紙にセットされ、そのまま飾っていただくほか、取り外して携帯もできます。メガネ拭き、携帯クリーナーとして、洗って何度でもお使いいただけます。年末年始のご挨拶や、ちょっとしたプレゼントにもどうぞ。

Cafe カフェ「すいれん」



11・12・1月の期間限定おすすめメニュー

「鱈のスーパゲティ」

1,260円 (税込み)

- 冬を代表する魚である鱈を、トマトベースのスーパゲティに仕上げました。

チケット売場、館内施設（常設ミュージアムショップ、カフェ「すいれん」）でSuica、各種クレジットカードがご利用いただけます。（ただし、一部除外品がございます）。詳細については、当館HPをご覧ください。

展示カレンダー [企画展示/常設展示] 2010年11月～2011年4月

休 館 日 土 日・祝日

NOV

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

11

アルブレヒト・デューラー版画・素描展 宗教／肖像／自然
(企画展示室) 10月26日(火)～2011年1月16日(日)
19世紀フランス版画の闇と光—メリヨン、ブレダン、ブラックモン、ルドン(新館2階版画素描展示室) 最終日11月28日(日)

DEC

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

12

アルブレヒト・デューラー版画・素描展 宗教／肖像／自然
(企画展示室) 10月26日(火)～2011年1月16日(日)
アウトサイダーズ(新館2階版画素描展示室) 12月7日(火)～2011年2月13日(日)
年末年始休館
12月28日(火)～
1月1日(土)

JAN

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

1

アルブレヒト・デューラー版画・素描展 宗教／肖像／自然
(企画展示室) 10月26日(火)～2011年1月16日(日)
アウトサイダーズ(新館2階版画素描展示室) 12月7日(火)～2011年2月13日(日)

FEB

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

2

全館休館
2月14日(月)～2月21日(月)
アウトサイダーズ(新館2階版画素描展示室) 最終日2月13日(日)

MAR

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

3

レンブラント 光の探求／闇の誘惑
(企画展示室) 3月12日(土)～6月12日(日)
レンブラント以前の北方版画(仮称) (新館2階版画素描展示室) 3月12日(土)～6月12日(日)

APR

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

4

レンブラント 光の探求／闇の誘惑
(企画展示室) 3月12日(土)～6月12日(日)
レンブラント以前の北方版画(仮称) (新館2階版画素描展示室) 3月12日(土)～6月12日(日)

※展覧会名、会期、内容等は変更されることがあります。

※作品の保存・貸し出し等の状況により、掲載された作品をご覧いただけない場合がございます。

●年末年始休館のお知らせ

2010年12月28日(火)～2011年1月1日(土)の期間、全館休館いたします。

2011年1月2日(日)から開館します。

2011年1月3日(月)、10日(月)は開館します。

●常設展示

ロダンの彫刻と、中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画、モネ・ルノワールなどのフランス近代絵画と20世紀初頭までの絵画を展示しています。(展示作品については、館内インフォメーションでおたずねいただくか、当館ホームページをご覧ください。)

国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間
通常…午前9時30分～午後5時30分
(ただし、秋の企画展閉会日以降の開館日から春の企画展開催日までの開館期間中＝午前9時30分～午後5時)
毎週金曜日…午前9時30分～午後8時
※入館は閉館の30分前まで
- 休館日…月曜日(ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日) 2011年1月4日(火)、11日(火) 年末年始(12月28日～翌年1月1日、3月11日(金)臨時休館
※その他、臨時に開館・休館することがあります。
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、文化の日(11月3日)
- お問い合わせ…ハローダイヤル:03-5777-8600
<http://www.nmwa.go.jp/>

※誌名について…「ZEPHYROS」(ゼフュロス)はギリシャ神話の神々のひとりで、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさや色ざまざまの花々を運び春の風をさします。

ZEPHYROS

ZEPHYROS 第45号

編集・発行 国立西洋美術館/平成22年11月20日(年4回発行)
協力(財) 西洋美術振興財団
印刷(株) アイネット